



J-SAILING

JAPAN SAILING FEDERATION



NO.110

www.jsaf.or.jp



みんなのお気に入りには

チップスター



ヤマザキナビスコ

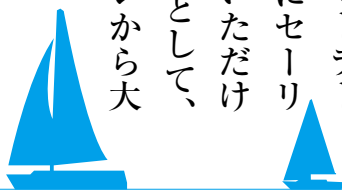
JSAFからのメッセージ

J-SAILINGの発行について

●平成27年度からJ-SAILINGを年1回の発行とします。替わって、今後はJSAFホームページの充実を図り、J-SAILINGではお伝えできなかったタイムリーな情報の発信により、セーリングコミュニティの一層の充実を目指します。JSAFを応援していただくスポンサー各社の活動紹介や誌面でお伝えできなかったメッセージなども、会員・非会員を問わず広くセーリング界に向けてお伝えします。各委員会、加盟団体・特別加盟団体等のイベントを含めた広報活動のさらなる充実も図ります。

●「JSAF会員登録の更新、一人でも多くのセーラーに登録を」をスローガンに、まだJSAF会員に登録されていないセーラーに向けて、セーリングスポーツの素晴らしさを伝えると共にセーリングスポーツを楽しむ仲間として、ぜひ会員登録をお誘いいただけるようお願いいたします。セーリングをシームレスなスポーツとして、ジュニアからシニアまで、ディングリー、ウインドサーフィンから大型艇まで、世代を超えて普及を目指します。

●2020年夏季オリンピック・パラリンピックの東京開催を5年後に控え、レースを支える運営スタッフをはじめ延べ千人規模のボランティアが必要です。これらのスタッフを育てる講習会や海外派遣などの事業費についての募金を会員・非会員を問わずお願いいたします。世界の人々と交流できる絶好のチャンスです。世界中に夢と希望と感動を伝えましょう。



■ジュニア・ユースにも届きます。

J-SAILINGはジュニア・ユースメンバーが所属するおよそ200の団体にお届けしています。各団体のご担当者の方には、ジュニア・ユースセーラーのためにJ-SAILINGを活用されることをお勧めいたします。

■PDFでも読めます。

JSAFホームページの<http://www.jsaf.or.jp/hp/j-sailing>にアクセスしてください。J-SAILINGのpdfバージョンが掲載されています。過去の記事を再読したり、本誌が手元にない時にもPCがあれば読むことができます。ご利用ください。

■会員登録はオンラインでできます。

日本セーリング連盟の会員となるために特別の資格や条件はありません。スポーツとしてのセーリングを愛好し、活動されている方であれば誰でも登録することができます。登録はオンラインから可能です。<http://www.jsaf.or.jp/hp/membership/account>をご覧ください。

JSAFのメンバーになれば

- ◎メンバーズカードが発行され、公式競技参加の資格が与えられます。
- ◎会費の一部が傷害保険の保険料に充当され、セーリングの事故による死亡、後遺障害に適用されます。
- ◎JSAFの会報誌「J-SAILING」が送付されます。
- ◎各種講習会などに参加でき、資格を取得する際の条件に適用されます。
- ◎「J-SAILING」をはじめ、所属する加盟団体からもセーリングに関する各種行事やレース日程などの情報が提供されます。

JSAFの活動の詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.jsaf.or.jp/hp/>



ASTRON
GPS
SOLAR

SEIKO

お問い合わせ先: セイコーウォッチ お客様相談室 0120-061-012 (9:30~17:30土・日・祝日除く)

生まれ変わるISAFワールドカップ

ISAF (国際セーリング連盟) が主催するセーリングワールドカップが、2年の移行期間の後、2017年からエリート選手が参加する大会へと生まれ変わるうとしています。
レポートと写真 / 斎藤愛子 (JSAF オリンピック強化委員会)



1月に開催されたISAFワールドカップ・マイアミ大会で3位に入った吉田・吉岡組(左)

登場が待たれるセーリング界のスターたち

ISAFは、セーリングがオリンピックに残るためにはメディアを意識した競技開催が重要であり、そのためにはセーリングのヒーローやヒロインの誕生が必要と考えました。

そして、今以上にメディアに登場させるために、ワールドカップを現行の「予選+決勝」という誰でも参加できる大会ではなく、上位40艇のみが競うエリートレースに変更することになりました。

この結果、ワールドカップはシードされたランク30位以内の選手と予選を勝ち抜いた選手の戦いになります。ATPのテニスやFISのスキージャンプも同様のシステムで運営されており、スポーツファンにとって馴染みやすい形式になるでしょう。

さらに、ワールドカップの開催を年5回とし、欧州に偏っていた開催地を世界全体に広げ、アジア、アフリカ、オセアニア、アメリカの大会が重要になる仕組みを構築しようとしています。

5戦(今年はメルボルン、マイアミ、イエール、ウエイマス、チンタオ)を競った後に開催されるワールドカップ・ファイナル(アブダビ)は勝者の20艇(各クラス)だけが集まる決勝大会で、その年のチャンピオンを決定する締めくくりの大会になります。

2015年は移行の第一歩 参加枠は40艇

2015年4月のイエール(仏)大会から参加枠が40艇に制限されます。2月2日のランキングで上位30位までに入った日本選手は3チーム(470男女)のみ。40位以内の選手は多数いますが、これらの選手は別に行われる予選大会で参加枠をとらねばワールドカップへは進めません。枠がとればイエール大会に参加、予選落ちしたらそこで遠征が終わります。

遠征を続けるための機材の輸送などを考えるとロジスティクスは複雑になり、予選通過と予選落ちのいずれにも対応できる2つのプランが必要になります。

一方、ランキングでシードされる選手もワールドカップに参戦してポイントを稼ぎ続けたいとシードから落ちてしまいます。若い、新しい選手にとってランキングを上げてワールドカップへ参加するという道は険しいものになります。

全体としては、エリート大会、予選大会、ランキングポイントを取った大会と三段構えになるわけです。

また、今回の改革は欧州の選手には不利となり、その他の地区の選手には歓迎すべき変更と考えられます。これまで欧州に集中していたトップランクの大会の開催地が、競技人口の分布に従ってではなく、五輪が推奨する五大方式に従って分散するからです。

注目される江の島オリンピックウィーク

2016リオデジャネイロ五輪が終わると、2017年からはワールドカップアジア地区大会を日本で開催することになるでしょう。エリート選手がこぞって日本大会に来ることになります。ポイントを取ったためにアジア予選に出る選手も増えるでしょう。

日本で開催されるランキングポイントのつく大会は、現在では江の島オリンピックウィークのみです。同レースは今年からアジアサーキットの1つに入るの獲得ポイントが高く、ポイントを取れる穴場になります。すでに、アジアセーリング連盟にはマレーシアやタイの選手から問い合わせが入っているという情報もあり、海外のカメラマンからは取材に関する質問が日本にきています。

国際大会を目指す日本の若手はこのチャンスを逃してはなりません。オリンピックウィークが最初のポイント獲得の大きなチャンスです(今年は6月4日、7日開催)。優勝すればキールウィークの勝者と同等点が獲得できるのですから!

ワールドカップの改革はセーリングがオリンピックに残り、スポーツとしてより発展するためのものです。東京五輪でセーリング競技が注目を浴びるためにはスターが必要で、ターゲットエイジになる16歳から30歳の皆さん、今年の江の島から第一歩を踏み出しましょう!

2015年度 JSAF ナショナルチーム 選手一覧

2016年リオデジャネイロ五輪が1年半後に迫ってきた。現在、国枠が決定しているのは470男女とRS:X男子の3クラス。今後、その他のクラスの国枠獲得、そして各クラスの代表選手決定など重要な試合が目白押しだ。今回、発表された7クラス22人の選手がオリンピック代表の座を目指して、残された時間でトレーニングに励む。

* 2015年3月3日現在のデータ



470級男子

永永 鉄也

マツナガ テツヤ

所属：株式会社 スリーボンドホールディングス
出身校：同志社大学



470級男子

吉田 雄悟

ヨシダ ユウゴ

所属：株式会社 スリーボンドホールディングス
出身校：法政大学



470級男子

飯束 潮吹

イツカ シブキ

所属：株式会社 エス・ビー・ネットワーク
出身校：日本経済大学



470級男子

八山 慎司

ハチヤマ シンジ

所属：株式会社 エス・ビー・ネットワーク
出身校：福岡大学



470級男子

土居 一斗

ドイ カズト

所属：アビームコンサルティング株式会社
出身校：日本経済大学



470級男子

今村 公彦

イマムラ キミヒコ

所属：九州旅客鉄道株式会社
出身校：日本経済大学



470級女子

吉田 愛

ヨシダ アイ

所属：株式会社ベネッセホールディングス
出身校：日本大学



470級女子

吉岡 美帆

ヨシオカ ミホ

所属：株式会社ベネッセホールディングス
出身校：立命館大学



470級男子

市野 直毅

イチノ ナオキ

所属：和歌山セーリングクラブ
出身校：関西学院大学



470級男子

外園 潤平

ホカゾノ ジュンペイ

所属：九州旅客鉄道株式会社
出身校：日本経済大学



49er
牧野 幸雄

マキノ ユキオ

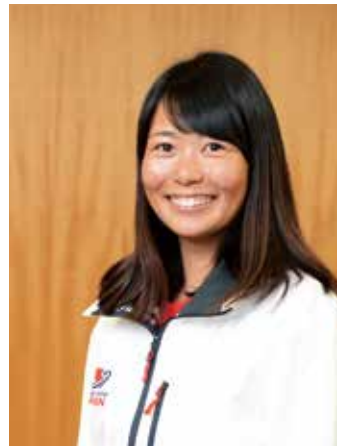
所属：トヨタ自動車東日本株式会社
出身校：立命館大学



49er
高橋 賢次

タカハシ ケンジ

所属：トヨタ自動車東日本株式会社
出身校：関東学院大学



470級女子
山口 祥世

ヤマグチ アキヨ

所属：株式会社ノエビア
出身校：早稲田大学



470級女子
畑山 絵里

ハタヤマ エリ

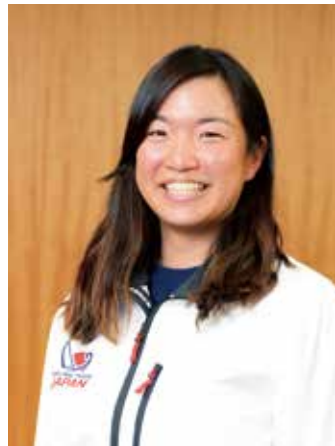
所属：株式会社ノエビア
出身校：日本経済大学



レーザーラジアル級
富部 柚三子

トンベ ユミコ

所属：江の島フリースト
出身校：日本女子大学



レーザーラジアル級

土居 愛実

ドイ マナミ

所属：慶應義塾大学
出身校：山手学院高校



レーザー級

安田 真之助

ヤスダ シノスケ

所属：京都府教育委員会
出身校：国立大学法人鹿屋体育大学



レーザー級

南里 研二

ナリ ケンジ

所属：NPO法人アルパトロスヨットクラブ
出身校：佐賀県立唐津西高等学校



RS:X級女子

大西 富士子

オオニシ フジコ

所属：株式会社 ホマレ電池
出身校：桜美林大学



RS:X級女子

須長 由季

スナガ ユキ

所属：株式会社ミキハウス
出身校：明治大学



RS:X級男子

板底 雄馬

イタバシ ユウマ

所属：立命館大学
出身校：滋賀県立栗東高等学校



RS:X級男子

富澤 慎

トミザワ マコト

所属：トヨタ自動車東日本株式会社
出身校：関東学院大学

Jリーグ公式審判員の西村雄一さん特別講習会

夢と感動を与えるために

2月22日、JSAFルール委員会は、ジャッジセミナーの一環としてJリーグ公式審判員の西村雄一さんを講師に迎え、特別講習会を東京夢の島マリナーで開催しました。(川北達也/JSAF普及指導委員会委員長)

講習会開催の経緯

これまでJSAFルール委員会は、国内のナショナルリーグやジャッジを対象にルール講習会やジャッジセミナーを開催し、スポーツマンシップの理解やルールの解釈について共通認識を得られるように努めてきました。

そして今回は、JSAF普及指導委員会とルール委員会が協力し、他の競技団体の審判を招いて、ジャッジとしての考えを磨く試みを行いました。



公式試合球を手にして熱弁をふるう西村雄一さん。この他、ユニフォーム、ワールドカップの映像などレアな展示品が聴講者の興味をひいた

オリンピック強化委員会メデイカルトレーナーである江口典秀さんのご支援を得て、2014年FIFAワールドカップ開幕戦で日本人初の主審を務められたJリーグ公式審判員の西村雄一さんを講師に迎え、特別講習会を東京夢の島マリナーで開催する運びとなりました。

西村雄一さんのプロフィール

講師の西村雄一さんは、幼稚園時代にサッカーを始め、小中高とサッカー

を続け、18歳で初めて4級審判の資格を取り、15年間で頂点のワールドカップ大会主審に上りつめ、2010年のFIFAワールドカップで主審を務めました。日本人審判が4試合の主審を務めたのは史上初です。

続く2014年のFIFAワールドカップ・ブラジル大会では、日本人として初めて開幕戦(ブラジル対クロアチア戦)の主審を務め、イエローカードを提示して話題になったことでもよく知られています。

講習内容

講習会は開始時刻前から始まりました。

早目に集まった聴講者は、会場に展示されたワールドカップで使用したボール、ユニフォーム等を眺め、プロモーション映像に見入り、写真を撮るなどして、講習が始まる前から会場の雰囲気を楽しんでいました。

講習のタイトルは「夢と感動を与えるために」。

開始早々の西村さんは、「皆さん、この中にサッカー嫌いな方はいらっしゃいますか?」と場を和ませます。多く



足元に注目! サッカーの審判員がトレーニングで使うバランスボードに乗って講演する西村さん

のジョークやアイスブレイキングが用意され、受講者を楽しませる数々の工夫が施され、みんなが西村さんの話に引き込まれました。講演時間はおよそ1時間半でしたが、その内容はセーリングの資格保有者とは異なり、指導者や選手にとって多くの示唆に富んでいました。その内容のいくつかをご紹介します。

「審判の役割と行動」

なぜ、審判という道を進んだのかについて、「コーチをしていたジュニアクラブの試合で、ミスジャッジによって負けたことが契機だった」と紹介。もつと選手の夢を大切にしたい。選手的生活、選手の未来、困難に立ち向かう選手の夢をかなえてサッカーの感動を伝えるサポートをしたい。それには、ゲームの中で「正しく状況を把握する」、「選手感情を察知する」ことが重要であり、そのために、十分な事前準備や練習をすることが大切である。

「審判の事前準備」

状況を正しく把握するためには、選手がその判断に納得できる審判のポジション、ボールを確認できる角度等を確実に確保できていること。見えない



J24 全日本 2014 “シエスタ”優勝

“Spray” team
オーナー: Hiroshi Kurokawa

堂々のCup獲得 Japan Melges Week 2014 Melges 20 class

Quantumが1,2フィニッシュ

精鋭参加 10艇で開催された激闘のなかで
8レース中 7レースをQ-セイルが制した。
OPからTP52とワンデザインでの
セイルの優秀さが世界で立証されている。



Quantum Japan
japan@quantumsails.com
www.quantumsails.com

www.wattsmarine.jp

(株)セイルス・バイ・ワッツ・ジャパン
本社ロフト

〒238-0233 神奈川県三浦市向ヶ崎町 8-40
電話: 046-882-5451 fax: 046-882-4319
関西営業所: (新西宮 YH)

〒662-0934 兵庫県西宮市西宮浜 4-14-3
電話: 0798-23-6410 fax: 0798-23-6420



講習会の後は記念写真となったが、みんな満面の笑顔

「日々がチャレンジ」
では、審判はどこまで先を考えて準備するのか？ ワールドカップも年によってゲームの特徴が異なる。2010年では細かくパスをつなげるゲームが主流で、それに合わせたポジショニングの練習をした。14年は打って変わって縦の長いロングパスによって得点するスピードある試合展開が主流で、それに遅れないスピードが審判にも求められた。

「チャレンジ精神」
西村さんは、「レフェリーだってミスはある」と言う。チャレンジをして失敗することもあれば、チャレンジしなくての失敗もある。どちらが後悔する

「人と行動を分離」
いわゆるフェールの多い選手については「どうしてもカードが多くなる選手が中盤の選手でいるとする。しかし、その選手は監督の指示の下、チームの役割として相手の動きを止めてくれと言われている。そういう指示なので、その選手個人が悪いわけじゃなくて、その行為が悪い」と言い、選手に対しては「性善説」で接するようにしているという。

「非常に感動しました。とくに、選手の夢をかなえること、またリスペクトが重要なキーワードであることを感銘を持って聴くことができました。プロの審判として不断の努力をされており、見習うことが多い内容でした」

「リスペクト」
聴講者からの「利害関係人、たとえば選手との接触はどのようにしているか？」という質問に対しては、「期間中、会わないようにしている」「選手の評価が下がらないようにしている。選手が審判に会うことによる評価の低下を気遣う自制。自制は、自身(審判の立場)を守るのではなく、相手方を守るために行う」という。

「ジャッジとして、指導者として多くの刺激を受けました。今後、選手とのコミュニケーションを大切にしたい」と思いました。また、試合(レース)を選手とともに良いものにするという考え方もヨットに通じる場所があると思えました。ヨットレースも選手、指導者、レース委員会、プロテスト委員会全員で協力して良いレースを作る

「非常に感動しました。とくに、選手の夢をかなえること、またリスペクトが重要なキーワードであることを感銘を持って聴くことができました。プロの審判として不断の努力をされており、見習うことが多い内容でした」

最後に、増田開JSAFルール委員会委員長の言葉で締めくくります。「すべてのジャッジの方々には聴いてほしいが多く、とくに選手が裁定を受け入れ、しかも満足するかどうかは選手との信頼関係が大切だという点。そのためにはどのような努力や準備が必要なのかを考えねばならないと改めて感じました。それに西村さんはプレゼンテーションがすごく上手かった。感動しました」

また、「レフェリーの判断を否定する選手はいないのか」との質問に対し、「選手がそうすることで、結果的に自分の評価を落とすことになる。だから、そのようなことが起きないように間合いをつくることも、レフェリーの技術」

「非常に感動しました。とくに、選手の夢をかなえること、またリスペクトが重要なキーワードであることを感銘を持って聴くことができました。プロの審判として不断の努力をされており、見習うことが多い内容でした」

最後に、増田開JSAFルール委員会委員長の言葉で締めくくります。「すべてのジャッジの方々には聴いてほしいが多く、とくに選手が裁定を受け入れ、しかも満足するかどうかは選手との信頼関係が大切だという点。そのためにはどのような努力や準備が必要なのかを考えねばならないと改めて感じました。それに西村さんはプレゼンテーションがすごく上手かった。感動しました」

最後に、増田開JSAFルール委員会委員長の言葉で締めくくります。「すべてのジャッジの方々には聴いてほしいが多く、とくに選手が裁定を受け入れ、しかも満足するかどうかは選手との信頼関係が大切だという点。そのためにはどのような努力や準備が必要なのかを考えねばならないと改めて感じました。それに西村さんはプレゼンテーションがすごく上手かった。感動しました」

「非常に感動しました。とくに、選手の夢をかなえること、またリスペクトが重要なキーワードであることを感銘を持って聴くことができました。プロの審判として不断の努力をされており、見習うことが多い内容でした」

最後に、増田開JSAFルール委員会委員長の言葉で締めくくります。「すべてのジャッジの方々には聴いてほしいが多く、とくに選手が裁定を受け入れ、しかも満足するかどうかは選手との信頼関係が大切だという点。そのためにはどのような努力や準備が必要なのかを考えねばならないと改めて感じました。それに西村さんはプレゼンテーションがすごく上手かった。感動しました」

最後に、増田開JSAFルール委員会委員長の言葉で締めくくります。「すべてのジャッジの方々には聴いてほしいが多く、とくに選手が裁定を受け入れ、しかも満足するかどうかは選手との信頼関係が大切だという点。そのためにはどのような努力や準備が必要なのかを考えねばならないと改めて感じました。それに西村さんはプレゼンテーションがすごく上手かった。感動しました」

最後に、増田開JSAFルール委員会委員長の言葉で締めくくります。「すべてのジャッジの方々には聴いてほしいが多く、とくに選手が裁定を受け入れ、しかも満足するかどうかは選手との信頼関係が大切だという点。そのためにはどのような努力や準備が必要なのかを考えねばならないと改めて感じました。それに西村さんはプレゼンテーションがすごく上手かった。感動しました」

地球がフィールド

— 後藤 浩紀

みなさんは普段練習している海が世界中の海と繋がっていることを意識したことがありますか？ 朝マリナーから出て、夕方同じマリナーに戻る毎日ではあまり考えたことがないかも知れませんね。

ヨットは必要な装備と風さえあれば、どこへでも走って行ける乗り物です。世界一周も夢ではないのです。実際にヨットには世界一周レースがあります。他のスポーツに世界一周レースなどありません。つまりセーリングは、あらゆるスポーツの中で最も大きいフィールドを持つという点です。

という独特の単位を使います。みなさんもマスターして一人前のセーラーの仲間入りをしましょう！
地球全体の7割を占める海を、風という地球が生み出す力を使って自由に走り回ることができるのは我々セーラーだけです。頑張って練習すればヨットはどんどん速く走り、どんどん遠くまで行けるようになります。みなさんが練習で身につけている技術や知識は、いずれ大海原に出て行くようになっても、ずっと役に立つ大事な基本なのだということを忘れないでください！
デインギーセーリングの頂点はオリンピックや世界選手権ですが、もっと大きなヨットでは世界一周レースをし

ている人たちがいます。その人たちにとってセーリングはスポーツというより冒険に近いでしょう。
また、夫婦や家族でゆつくりのんびりと世界一周をしている人たちもたくさんいます。その人たちにとってセーリングは生活そのもの、人生そのものです。
セーリングの魅力は、知れば知るほどに深く大きくなっていきます。みなさんは幸運にもその仲間入りをしました。たとえ今の活動に辛いことや苦しいことがあったとしても、その先には必ず大きな喜びが待っています。
ご両親や指導者の方への感謝の気持ちを忘れず、長くセーリングを続けて世界へ羽ばたくスケールの大きなセーラーへ成長してください。ヨットはみなさんの夢が続く限り、何万マイルでも遠くへみなさんを運んでくれることではないでしょうか！！

セーリングの価値は無限です

— 関一人

セーリングを楽しむためには、まず一人で海に出て、帰ってくる操船技術が必要です。

私は小さいころ、それがうまくできませんでした。時には泣きながらハーバーに戻り、セッティングを解き、最後まで船を片づけることすらできませんでした。

そんな私がいつの間にか競技に目覚め、日本代表として世界を転戦して回るようになり、気がつけばオリンピックの檣舞台に立っていました。あらた

めて世界は海で繋がっていることを実感します。その広大な海をフィールドとして、セーリングというツールを使って自然と調和する。こんな楽しいスポーツって他にはないよね！ と今は思います。

私が経験したオリンピックを目指す活動には素晴らしい価値がありました。レースに参加するだけでも楽しいし、ブカブカ浮いているだけでも楽しいし、友達と話しているだけでも楽しいですよね。

セーリングの楽しみ方は人それぞれで、日本中のジュニア、ユースセーラーの楽しいことの手助けができる。それが私にとってのシーマンシップアカデミーです。

今年度は北海道から福岡まで講習に伺い、未来のセーリング界を背負うセーラー達とたくさんの方との交流を持つことができました。今後も日本全国のジュニア、ユースセーラーや彼らの活動を支援する指導者の方々の力になれるよう、この事業を通じて尽力して参ります。

セーリングの楽しみ方は様々でその価値は無限です。ジュニア、ユースセーラーの皆さんにはそれぞれ夢を抱いて、決して諦めずに前へ進み続けてほしいと願います。

無限の可能性を持つ ジュニア、ユースセーラーたちへ



※本事業はスポーツ振興くじ助成を受けています

2014年度ジュニアユースセーリング・シーマンシップアカデミー事業は3月14～15日の広島開催をもって全14回を終了しました。今年度を振り返り、当アカデミーが誇るコーチ陣の中から3名の方にメッセージをいただきました。我々の思いが日の丸を背負うセーラーたちと共にあり、未来に無限の可能性を持つジュニア、ユースセーラーたちに届くことを願い、寄稿していただきました。

(中村公俊／ジュニアユースアカデミー委員会委員長)



小戸で講演する榮楽洋光コーチ(左)と関一人コーチ



小戸アカデミーの轟賢二郎コーチ



★2015年度の開催要項は19ページをご覧ください★

一寸先は光ばかり

轟賢二郎

2009年に北京オリンピックキャベンを終えた後、ジュニアユースアカデミー委員長の中村公俊さんに「ジュニア育成事業があるんだけど、コーチ登録しないか？」と声をかけていたでいて、早くも6年が経過しました。「時間の流れは早いものだなあ」と本稿を書きながら考えています。

私がセーリングを始めた時は、世界を経験したセーラーとかかわれる機会はなく、当時のヨット情報誌を穴が開くほど読みながら「世界ってこんな感じかなあ」と想像していたことを思うと、「今の子供たちは本当に羨ましい」の一言です。

今の子どもたちに「努力が足りない」とか「気合が足りない」などと言いた

い訳ではありません。ただ、ただ「羨ましい」と思うのです。そのような機会を与えて下さっているセーリング関係の方たちに感謝しなければいけません。

今も昔もそうですが、私は海が大好きで、マリンスポーツが大好きです。この頃はヨット以外のマリンスポーツをすることの方が多いのですが、「大海好き」になったキッカケはやはりセーリングです。

今でも忘れないのは、最初に海に出た時の「ドキドキ、ワクワク感」。「どうなるんだ、この先は、果たして無事に帰って来られるのか、という先が読めない不安感」、「おお！ こうすると、こうなるのかあ、という発見と感動」。私にとって海という遊び場でセーリン

グすることは、まさに「一寸先は闇じゃなくて、光ばかり」でした。

とにかくヨットが楽しくて、学校や仕事が終わると急いで海に向かって自転車を走らせ、オーニングを引きはがしてはセーリングを繰り返す日々。振り返ると、夢中になれることは上達するための一番の近道だと思えます。皆さんも「ハマったら、トコトンやろう！」を心掛けてください。

それと、もう一つ。海に出ると不思議と「イヤなこと」「ムカつくこと」「悲しいこと」それらすべてを忘れることができます。後から思い出してもあまりにたいした事ではないと思えてきます。それは私だけかも知れませんが(笑)

海の上を滑走する爽快感。道なき海を自由に走り回れる感動。技能を競い頂点を目指す緊張感。のんびりと景色を眺める自然体。セーリングには様々な楽しみがあります。たくさん楽しんで下さい!!



Gill 日本総代理店 株式会社フォーチュン

〒550-0004
大阪市西区鞆本町 1-14-18 本町アセットビル 2F
TEL: 06-6445-2300 FAX: 06-6445-2310
E-mail: info@gill.jp URL: www.gill.jp



高松アカデミーでレクチャーする後藤浩紀コーチ(右)と田畑和歌子コーチ。2人はリオ五輪の男女混合種目ナクラでリオ五輪を目指す

● 会議開催の経緯

ちょうど1年前、北海道・函館において、「外洋加盟団体長会議」は誕生しました。

それまで、外洋加盟団体は一部を除き団体間の連携した活動や交流が活発に行われていると言える状態ではなかったと思います。

一方、各専門委員会所属の全国各地の委員が参加する「合同委員会会議」は今回で6回目となり、技術系の議題を中心にヨットに関する様々な事柄について討議や意見交換がなされ、あらゆる情報を共有できるようになっていました。この会議で外洋ヨット界の風通しがおおいに良くなったことは言うまでもなく、現場で活躍する若い方々の技術向上に少なからず役立っていると言えます。

このような状況の中で外洋ヨット界を、植松眞JSAF副会長の言葉を借りれば「透明性のある、開かれた環境に」すべく、昨年の合同委員会会議（函館）に合わせ、外洋加盟団体長が集結し、真っ白な銀世界の中で初心に帰り、大いに関係者間の親睦を図りながら今後の外洋ヨット界の方向性を見出し、強力な組織づくりを実現すべく、「外洋加盟団体長会議」を立ち上げました。

この会議はJSAFの組織図には表現されない会議ではありますが、構成するのは外洋加盟団体長、JSAF外洋系理事及び外洋専門委員会委員長なので、外洋系に特化した課題については、この会議で大いに議論し、方針等を決定していくことになりました。しかし外洋系に「特化」とはいえながら、この会議で決定した内容がJSAF全体に影響すると思われるものについては、外洋系理事からJSAF理事会に提案、調整するということになりました。

● 外洋加盟団体長会議

会議の概略と議論のポイントを報告したいと思います。

外洋加盟団体長会議は1月31日午前9時から始まりました。

各団体の事務担当者も同席し、まずは事務的な事項や団体の活動に有益な左記の情報を提供しました。

(1) 登録艇情報の開示に関すること
(2) 会員管理システムが新しく変わることについての説明

(3) 団体がレースを主催する上での安全・危機管理の立場から見た要注意点の紹介を行いました。

とくに(3)については、各団体が主催の意味を再確認し、主催者責任については充分認識した上でレース運営に当たっていただきたいので、あえて説明させていただきました。

次に、本年以降のジャパンカップについては、昨年来、外洋艇推進グループ内にワーキンググループを設置して協議を重ね、取りまとめた内容を提案し、満場一致で承認されました。

その内容の大きな改正点は、
(1) JSAF主催とすること

(2) 参加艇の対象を30〜60ftとする

(3) 4月末時点で参加艇数が規定(10艇以上)に達しない場合、その年は開催せず、開催場所も次に移動する(2015は東海で開催、次は関西、そして関東)

というものです。

とくに(2)については幅広い皆さんの艇でジャパンカップを競ってみたいという願いが込められています。本レポートをお読みになった方で興味のある方は是非エントリーしていただきたいと思えます。

この他、外洋加盟団体で異なる会費の統一化、特別加盟団体との交流方法

外洋長崎会議

密度の高い3日間

1月31日と2月1日、
長崎市で「外洋加盟団体長会議」と「合同委員会会議」の外洋系の2つの重要な会議が開催された。
これらの会議が開催されるようになった経緯、そしてその内容をご報告する。

レポート／坂谷定生 (JSAF 常務理事)



NOTHING EXCEPT VICTORY



PATTON
HARKEN

PATTON-HARKEN
Regatta watch

¥198,000 (税別)

www.harken.jp

等の協議がなされ、予定の3時間を超える熱心な討議を終え、閉会しました。

● 合同委員会会議

一方、合同委員会会議は同日午後1時から始まりました。

会議では各専門委員会から関係事項の報告や課題についての説明があり、大いに議論されました。

まずレース委員会外洋小委員会からは、レースオフィサー制度、JSAF公認後援審査にかかわる問題点、ジャパンカップに関する事、外洋レース主催での注意点等の説明がありました。

ルール委員会外洋規則小委員会からはRRS改正に関する事、外洋安全委員会からは無線局（4月1日以降無線局加入無料サービスがなくなります）、PLB (Personal Locator Beacon)、JSAF・OSRの件についての説明や事故の事例を参考にした安全への心がまえの指導、安全講習会などの案内がありました。

外洋計測委員会からはIRCとORCの関係、IRC規則の変更、セールメジャーに関する事等の説明、国際委員会からは国際会議への委員の派遣状況、世界の採用レーティングの状況と日本への影響等の報告、またキールボート強化委員会からは日中韓フレンドシップセーリングレガッタの開催に向けた状況報告と協力依頼がありました。

最後にマッチレース協会から活動の紹介と関係事業への協力依頼について熱い熱いアピールがあり、参加者から喝さいを浴びて午後4時閉会となりました。

この後、恒例の懇親会が長崎県外洋帆走協会のお世話により開催され、参加者全員が語りあい、交友を図りました。

● 2日+1日の会期

翌日の2月1日は合同委員会会議に付随して午前9時から「レースマネージメントセミナー」が開催され、前日の疲れも見せず引き続き多くの参加があり、レース委員会外洋小委員会三浦信郎委員長が熱弁をふるいました。

このセミナーの教材はレースを主催する上での基本的な考え方や作業内容、行動を体系化したもので、それらの内容を理解することで、しっかりとしたレースマネージメントを身につけることを最大の目的にしており、プロジェクトを用いてわかりやすい解説がされました。

レースを主催する加盟団体にとっては大いに役立つ内容で、得るものが多かったと思われまふ。

さらに1日午後には会場を長崎サンセットマリナーに移し、長崎県外洋帆走協会主催の安全講習会が開催され、大坪明外洋安全委員長による落水しなための講演があり、地元のリレーラーを中心として約50名が2時間余りの有意義な時間を過ごしました。

午前、午後にはわたって開催されたこの種の研修会は毎年合同委員会会議に付随する形で開催されています。

また、会議前日の1月30日には計測の講習会（実測及び机上）も開催されています。

会議の会期は2日間ですが、合同委員会会議は実質的には3日間で構成されており、非常に密度の高い、参加者には様々な情報が得られた会議であったと言えます。

今後もこの2つの会議は内容を充実させ、連携しながら続き、関係者の皆さんの努力によって外洋ヨットレース界はさらなる成長を続けていくことでしょう。



語り、飲み、議論の3日間。充実した長崎会議だった

夢にむかって・・・ セーリングのナショナルチームとユースチームを応援します！

ナショナルチーム・ユースチームの海外遠征の手配、
インド洋の楽園 セーシェルへのリゾートツアー、
障害者スポーツの海外派遣、
フランスへの個人語学留学の手配、
業務渡航その他、海外への各種渡航手配を行っております。

株式会社 **グロリア ツアーズ** TEL:03-6661-9080 (代表) <http://www.gloria-tours.jp>

相対風向 90°

①スピネール低・角度 80°



④スピネール高・角度 80°



図 8-7 ①と④のトリム状態におけるクリップ画像 (相対風向 90°)

まの方がよい結果が得られている。逆に、スピネールを引いてカールを取ると図中の②程度に推進力は低下する。なお、波浪中で船がローリングしているときは風洞試験のように安定してラフをカールさせるのは難しいかもしれないが、とにかくスピネールはできるだけ出すのが良いようである。一方、ポール先端が高い④の場合は、スピネールのラフがカールしなくても推進力は大きい、やはり全般にカールした方が安定して高い値となっている。またスピネール角度は、風向 (相対風向) に対して直角よりも 10° ~ 15° 程度風上へ引いた方が良いようである。これは結果としてスピネールを出すことになり、ラフがカールするとともに、スピネールとメインセールの間隔を広げる効果があるためと考えられる (上部からの画像参照)。

8-8 スピネールについてまとめ

相対風向 90° 以外の例として、相対風向 120° の場合の結果、ならびにこれらの風洞実験時の動画を別途 JSAF のホームページに掲載するので参照いただきたい。(URL は下記参照)

これらの結果からスピネールについてまとめると以下のようである。

(1) スピネールのラフが、カールして安定した方が推進力が高い場合が多い。カールしない程度までスピネールを引くと、多くの場合推進力が低下する。考えられる理由は以下のとおりである。

●メインセールやジブの場合に比べて、スピネールのラフは薄いエッジ状の前縁である。このためセール背面の流れが剥離しやすく、性能が悪くなりやすい。これに対してラフがカールした場合は、丸みのある前縁となるため剥離しにくくなる。特にカールが流れによって自動的にできた場合は流れに沿った形になるため、流体力学的にはより好ましい断面形状になるものと考えられる。(なお、カールして安定するのは、470 級のスピネールの肩が張っているためと考えられる。クルーザーのスピネールの場合は難しいようである。)

●ラフがカールする程度までスピネールを出すことによって、スピネールのリーチ側 (後縁) がメインセールから離れる。これによってスムーズな流れにすることができる。実験結果より、とにかくセールの間隔を広げることが有効であることがわかった。

(2) スピネールは風に直角であるよりも、10° ~ 15° 程度風上側へ引

いた方がよい。これは上記のスピネールを出す効果に関連するものと考えられる。

(3) スピネールの先端は高くし、タックとクルーの高さを同じにした方がよい。スピネールを高くする効果の一つは、スピネールをより遠くへ展開するところにあると考えられる。なお、相対風向が 150° とかなりランニングに近くなった場合はラフをカールさせる効果もあまりないので、ポールの先端を低くしてセールの投影面積が大きくなるようにした方がよい。

8-9 風洞試験データの適用にあたって注意しなければならない点

図 8-6 中の②と③の間や④と⑤の間などで、Cx のグラフが大きく低下している部分がある。実はこの直前でスピネールを引いているのだが、スピネールの形状変化はごくわずかである (この様子は、上記の動画で見ることができる)。それにもかかわらずこのような大きな値の変化 (30% 程度の低下) が現れるのは、セール表面の流れの様相が変わってしまい、剥離の影響が実際よりも大きく出たためではないかと考えている。セールの風洞試験は (もっと大型の風洞を用いても) 実は流体力学的に厄介な領域に入っており、模型と実船では流れの様相が異なっている可能性がある。近年、実船レベルで実際のセールの用いた圧力分布計測 [1] が行われるようになり、特に前縁 (ラフ) 近くにおいて模型セールとの違いが指摘されるようになってきている。

ただ、それでは風洞試験が全く無意味かと言えばそうでもなく、上記のようなラフ近くの流れに由来する急な剥離現象を避ければ、全体的な形状と力の関係を見る上では有効手段と考えられる。また、現状ではセールの性能を明らかにするためには風洞試験によらざるを得ないのも事実である。したがって、このような問題点が含まれていることを念頭に、ここに示した結果を参照いただければ幸いです。なお、本実験と数値計算の実施にあたり、ノースセール・ジャパン社、ならびに田原裕介氏、原静男氏のご協力を頂きました。ここに深甚の謝意を表します。(次稿からは Web J-SAILING で随時、掲載いたします)

<https://www.youtube.com/watch?v=8uHJd7KSI3w&feature=youtu.be>

https://www.youtube.com/watch?v=_9g_FvufOSw

こうすれば速くなる(かも)！ 470級の帆走性能を科学する⑦

「どうすれば速く走れるか」はセーラーの永遠のテーマである。学術的な側面からそのテーマを探求したレポートを掲載する。頭をクリアにして、お読みいただきたい。(編集部)

レポート/金沢工業大学 増山 豊

相対風向 90°

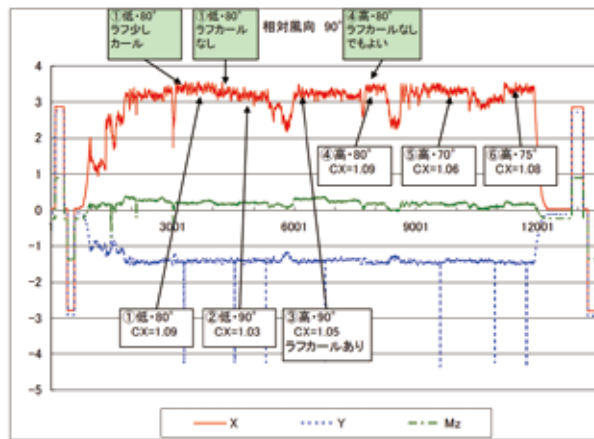


図8-6 スピネカーのトリムを変化させながら測定したロードセル出力(相対風向90°)

相対風向90°

	スピネカー	相対風向	CX	CY	CMz
①	低・80°	90	1.09	0.84	-0.068
②	低・90°	90	1.03	0.85	-0.062
③	高・90°	90	1.05	0.85	-0.078
④	高・80°	90	1.09	0.88	-0.058
⑤	高・70°	90	1.06	0.83	-0.060
⑥	高・75°	90	1.07	0.88	-0.055

プラスが プラスが マイナスが
前進方向 右舷方向 反時計回り
ポートタックで実験 (ウエザ側へ)
(CYとCMzの符号は、グラフ中の向きと反対)

8 「メインセール+スピネカー」の性能(つづき)

8-6 ジブの有無による性能の違い

前レポート(本誌109号)の図8-4に、揚力係数 C_L 、抗力係数 C_D 、ヨーモーメント係数 CM_z の変化を示した。これを船体の前後方向と横方向に分解した、推進力係数 C_X と横押し力係数 C_Y で表したものを図8-5に示す。横軸は船体中心線と風向とのなす角度(風洞試験では、真風向=相対風向)である。推進力係数は風向140°付近で最大となり、このとき横押し力係数はほぼゼロになることがわかる。なお、これは係数としての大きさであることに注意いただきたい。実際の力はこれに相対風速の自乗を掛けたものに比例するので、どの方向に走ると相対風速が大きくなるかを常に考える必要がある。

ところで、スピネカーを展開している時、ジブは効果があるのだろうか? 図中において中実の点はジブがある場合、中空の点はジブがない場合の結果である。(なお、係数化にあたっては同じセール面積(メインセール+スピネカー)を用いているので、そのまま性能の違いを表している)。推進力係数 C_X から見ると、相対風向105°以上ではジブがない方が C_X が大きいことがわかる。すなわち、ジブは相対風向105°程度までは効果があるが、それ以上の追い風になると邪魔でしかなく、相対風向135°では実に15%近くの推進力減少となっている。この領域ではジブシートはたるみ、ジブは遊んでいる状態になる。結果として、スピネカーへの流れを邪魔することになっているので、ジブを絞るなどの何らかの対策をとった方がよいのではないかと考えられる。

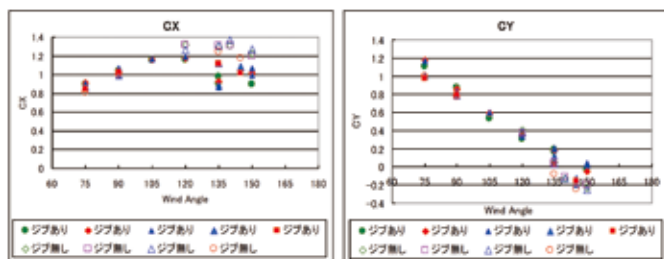


図8-5 ジブの有無によるスピネカーの性能の違い

8-7 スピントリムの連続変化による性能の違い

スピネカーのトリムを連続的に変えながらロードセル出力を記録し、どのようなトリムの時に推進力(X力)が最大になるかを探った。相対風向で75°から150°の範囲について実験を行ったが、ここでは、90°の場合について示す。90°は上マークからサイドマークへ向うクォーターリーの場合の、相対風向に対応する状態と考えられる。スピネカーのトリムは、スピネカー先端の位置の変化とスピネカーの出し入れによって行っている。なおこの間、メインセールとジブのトリムは変化させていない。

相対風向90°の場合の、スピネカーのトリムを変化させながら測定したロードセル出力を図8-6に、この内で良いと考えられるトリム状態のクリップ画像の例を図8-7に示す。図8-6において、上の曲線が推進力(X)を表し、真中がヨーモーメント(Mz)、下が横押し力(Y)を表している。スピネカーは、ほぼ水平にセットした場合を“低”、通常の高めにセットした場合を“高”と表している。また、風向に対してスピネカーの角度を70°(風上へ20°)から90°(真横)の範囲にセットして、スピネカーを連続的に出し入れしてロードセルの変化を記録した。また、この時のセール形状を3方向から動画撮影した。これらを一つの画面に表示したものが図8-11である。

図中の①~⑥の番号は、各々のスピネカー先端位置の調整に対応している。①、②はスピネカーが低い状態、③~⑥は高い状態でスピネカーをトリムしている。また、各々の状態における C_X の平均値を図中の枠内に示すとともに、右表に測定値の一覧表を示す。これらの内で C_X の平均値が高い①と④の状態のクリップ画像を図8-7に示している。スピネカーの角度はともに80°(風上へ10°)にセットしているが、ポール先端の高さによってスピネカーの肩の張り方がかなり異なることがわかる(船首側からの画像参照)。

一般にポール先端は高めにセットする方がよいとされているが、①の低い場合でもスピネカーのラフがカールするまでスピネカーを十分に出してやれば高い推進力が得られている。470級のスピネカーは肩が張っていることもあって、図に見られるくらいラフをカールさせても(風洞試験では)安定している。よく、ラフがピラピラする程度が良いと言われているが、この場合はピラピラを通り越して図のように丸まったま

Full Speed Ahead

Carrying dreams, Carrying the future

子供たちの未来が輝かしいものであって欲しい。そのために私たちは運び続けます。
ヒトやモノを運ぶことが、夢を運ぶことにつながると信じて。船だからこそできること。
商船三井だからこそ、できることがあります。 www.mol.co.jp

MOL 商船三井

CATCH THE WIND

YAMAHA
SAILING CRUISER
&
DINGHY SERIES



●お問い合わせは
◎ディンギーヨット / オクムラボート 販売株式会社 〒671-0111 兵庫県姫路市の形町の形2013 tel.0792-54-5630 <http://www.okumuraboat.co.jp>
◎クルザーヨット / ニュージャパンヨット株式会社 〒421-0502 静岡県牧之原市白井7-9 tel.0548-54-0221 <http://www.njy.co.jp>

世界で勝ち続ける Made in Japan

2014-2015 470 Recent Results

2015 ISAF WORLD CUP Miami(Men) 1,2,5,6,8,9,10
2015 ISAF WORLD CUP Miami(Women) 1,2,3,4,5,6,7,8,9,10

2015 North American Championship(Men) 1,2,3
2015 North American Championship(Women) 1,2,3

Brazilian Nationals(Men) 1,2,3,4,5
Brazilian Nationals(Women) 1,2,3,4,5

ISAF SAILING WORLD CUP FINAL(Men) 1,2,3,4,5
ISAF SAILING WORLD CUP FINAL(Women) 1,2,3,4,5,6

ISAF SAILING WORLD(Men) 1,3,4,5,6,9,10
ISAF SAILING WORLD(Women) 1,2,3,4,5,6,7,8,9,10

Rio Pre Olympic(Men) 1,2,3,6,7,8,9,10
Rio Pre Olympic(Women) 1,2,3,4,5,7,8,9,10

EUROPEAN(Men) 1,2,3,6,7,8,9
EUROPEAN(Women) 1,2,3,4,6,7,8,9,10

Delta Llyod Regatta(Men) 1,2,3,4,6
Delta Llyod Regatta(Women) 1,2,3,4,6

SOF HYERES (Men) 1,2,5,6,8,10
SOF HYERES (Women) 1,2,3,4,5,6,7,8,9,10



Faster by Design

Radial for All

世界をリードし、進化し続けるノースセイルジャパン製セイル。
そのアドバンテージをすべてのセーラーに。



株式会社 ノースセイル・ジャパン
info@jp.northsails.com <http://www.jp.northsails.com>

●本社・横浜ロフト
●関西ロフト
●北海道ロフト

〒236-0007
〒662-0934
〒047-0008

神奈川県横浜市金沢区白帆4-3 Tel 045(770)5666 Fax 045(773)5222
西宮市西宮浜4-16-2 新西宮ヨットハーバー内 Tel 0798(26)7771 Fax 0798(26)7773
小樽市築港 5-2 Tel 0134(25)3227 Fax 0134(25)6452

BOARD

ノースボード



トークショーの様子。左から宝城カイりさん。水津岳太郎監督、山本真也さん、北川真理さん



海賊レスラーの異名をとる宝城カイりさん。49erFXブースで



ブースに展示された49erFX

JSAFも出展 ジャパンインターナショナル ボートショー2015

ジャパンインターナショナルボートショー2015が3月5日～8日、神奈川県横浜市のパシフィック横浜、横浜ベイサイドマリナーで開催されました。

JSAFはパシフィック横浜会場の2カ所にブースを出展しました。

ひとつは会員勧誘、各種問い合わせ対応、ルールブックやオリジナルグッズ販売などを行うブースです。ここではアテネオリンピック470級女子ゴールドメダリスト、ソフィア・ベカストロウが製作した470トレーニングビデオも販売。クルーザーセーラーも購入するなど、反応はまぎまぎでした。

もうひとつは、ボートショー主催者の(一社)日本マリナー事業協会の協力の下で実現したJSAF主催、JOC後援のJSAF特別企画コーナー「オリンピック・パラ

リンピックヨット競技応援プロジェクト」ブースです。

ここでは、五輪種目のなかでも華やかな49erFXの実艇を展示し、壁面にはオリンピック、パラリンピックのパネルを掲示し、オリンピック、パラリンピック関連情報を発信しました。

49erFXにはハーネスをつけたマネキンにトラピーズさせ、ジェネカーに送風機で風を送り込むと、来場者の注目度はぐっとアップ。ヨットを背景に記念写真を撮る家族連れが出るほどでした。

一方、特別企画の一環として、2014アジア・パラ競技大会銀メダリストの山本真也・北川真理組によるトークショーを3月7日に行いました。

トークショーの司会は女子プロレスラーの宝城カイりさん。なぜ女子プロレスラーが?と思われるでしょ

うが、宝城さんは高校、大学とヨット部に所属していたセーラー。今も機会があればヨットに乗りたいと考えており、今回、快く司会を引き受けてくれました。

トークショーでは、アジアパラ競技大会のレースの様子、ロンドンパラリンピックの悔しかった話、2016リオにかける思い、2020東京パラ競技大会でセーリングが外れたことを受けた水津岳太郎監督の決意など様々な話題が登場しました。

また、山本・北川組は2014年MJCマリン大賞(MJC=マリンジャーナリストコンファレンスがマリン関係で著しい活躍をした人や団体を表彰するもの)を受賞し、トークショーに続いて行われた表彰式にも登場、この日は障害者セーリングをアピールする絶好の機会となりました。



写真左：ブースでdemo映像を流す470トレーニングビデオ
写真右：大型セーリングボートが海上展示された横浜ベイサイドマリナー会場

病院

北柏リハビリ総合病院(247床)

健診センター

柏健診クリニック
汐留健診クリニック

クリニック

西浦眼科
まちや外科内科
梅郷整形外科クリニック(13床)
天宣会循環器・睡眠呼吸クリニック

介護老人保健施設

梅郷ナーシングセンター(124床)
北柏ナーシングケアセンター(120床)

介護老人福祉施設

みゆきの郷(120床)
流山こまぎ安心館(110床)
かしわ安心館(110床)

居宅介護支援

梅郷ナーシング居宅介護支援事業所
北柏リハビリ総合病院居宅介護支援事業所
居宅介護支援センターみゆき
居宅介護支援事業所 こまぎ安心館
居宅介護支援事業所 かしわ安心館

訪問看護

北柏訪問看護ステーション

研究

日本成人保健医療問題研究所

天宣会グループ

「感謝な心」で
信頼の医療サービスを
ご提供いたします

NOTICE

平成27年度ジュニアユースセーリング・シーマンシップ アカデミー実施要項

- 主催** JSAF ジュニアユースアカデミー委員会
(※スポーツ振興くじ助成申請中)
- 目的** 優秀な指導者（オリンピック経験者やナショナルチーム経験者）を全国のジュニア・ユース対象のスクール等に派遣し、技術指導や講演を行うことで、海洋国家日本にふさわしいシーマンの育成を図る。
- 内容** シーマンシップの啓発を目的として、アカデミー講師に登録している指導者（オリンピック経験者、ナショナルチーム経験者）を講師として派遣します。基本的な技術力の向上と併せてシーマンとして必要な知識と考え方を学ぶ機会としてご活用ください。
- 期間** 平成27年4月18日（土）～平成28年3月6日（日）
- 回数** 全15回（2日間/1回）を予定しています。
- 対象** ①ジュニア・ユースクラブの活動
②都道府県連が行うジュニア・ユース対象の活動
③ジュニア・ユースが参加できる講演
④その他ジュニア・ユースが対象の活動
- 指導者** オリンピック経験者またはナショナルチーム経験者（コーチ含む）
1回につき、1、2名の指導者を派遣する。
- 費用** 指導者派遣に要する交通費、謝金、宿泊費等はJSAFが負担します。
- 申込み** 申込み書に必要事項を記入の上、FAXかメールでお申し込みください。指導者の派遣を調整しますが、ご希望の日程で派遣できないこともありますので、予めご了承ください。
- 申込み先** JSAF ジュニアユースアカデミー委員会事務局
TEL 03-3481-2358
FAX 03-3481-0414
担当 中村 090-6419-4632
kai10-3saki@ab.auone-net.jp
青山 090-4722-3083
yachties@extra.ocn.ne.jp
川上 (JSAF事務局)
kawakami@jsaf.or.jp
- お願い** 実施団体には、事務手続きについてご協力をお願いします
①開催要項、参加者名簿の作成
②コーチポートの準備
③会場の確保
④受講生の傷害保険加入「未加入の場合」

JSAF 定期表彰

1月24日（土）に開催された全国代表者会議において平成26年度のJSAF定期表彰式が行われました。

永年にわたり、加盟団体の役員としてセーリングスポーツの振興と発展に貢献された方々、指導者として尽力された方々に対し、河野博文会長から祝辞があり、続いて表彰状が贈呈されました。

受賞者を代表して結城威氏から謝辞があり、会議参加者の祝福のなかで表彰式が行われました。受賞者は下記の方々です。（JSAF 総務委員会）

- 功労賞（3名） 稲葉文則氏、前田彰氏、結城威氏
- 功績賞（2名） 谷伸明氏、中根健二郎氏
- 優秀指導者賞（2名） 滝川宗一氏、内藤武夫氏



日本航空の 「次世代選手支援プログラム」

日本航空（JAL）の各競技団体次世代選手育成・支援を目的とした「JAL ネクストアスリート・マイルプロジェクト」の対象団体にセーリング競技が選ばれ、2カ月が経過しました。

JSAF メンバーの理解を得て、2月25日時点で22人の方から18万8千マイルのご寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。

「JAL ネクストアスリート・マイルプロジェクト」は挑戦を続ける次世代アスリートを応援するプロジェクトです。

みなさんが持つJALのマイルを競技団体へ贈り、贈られたマイルと同額をJALが加算し、競技団体へ補助し、その費用が遠征、合宿等に活用される仕組みです。

みなさんのマイルが、世界へ挑む次世代選手のチカラになることをご理解下さい。

JSAF ホームページトップの「JAL ネクストアスリート・マイルプロジェクト」バナーからJALのプロジェクトページに飛ぶと、申し込むことができます。

詳しくは下記をご覧ください。

<http://www.jal.co.jp/jalmile/use/next-athlete/>

訃報 米澤一 前 JSAF 顧問が 3月6日、逝去されました

米澤一 前顧問は、昭和54年から日本ヨット協会の理事、昭和61年から理事長、その後副会長と要職を務められ、日本セーリング連盟でも顧問として後輩の指導に当たられました。また、ヨット関係OB会のヨットマンクラブの会長をされていました。

バッジテスト制度やルール委員会のジャッジ制度の創設、またJYAとNORC統合に大きく貢献されました。

一方、日本体育協会の評議員・理事さらには常務理事、さらにスペシャルオリンピックスの理事など、日本のスポーツ界に幅広く寄与されました。

享年84、突然の訃報で悲しみに耐えられません。心よりご冥福をお祈り申し上げます。合掌

(JSAF 総務委員会)

YANMAR

次の100年に向けて。
最高の技術・サービス・ホスピタリティを
極めるヤンマーへ。

ヤンマー株式会社 www.yanmar.co.jp

あなたと世界はつながっている、という話。



いろんな方法で、あなたのもとへ。世界のモノ運びをお手伝いしています。

「日本郵船」という名前から、船だけの会社だと思われがちな私たち。
でも本当は船以外にも、飛行機や鉄道やトラックなどを駆使した、さまざまな種類のモノ運びをご提供しています。
その範囲は、まさに地球全体。

あなたの身のまわりにある暮らしの必需品も、大切な宝物も、
モノ運びを通じてつながった、世界とあなたの絆のしるしといえるかもしれません。

Bringing value to life.



スポーツ、 大好き！

そこに、どんなものでもいいから
ボールがひとつあれば、スポーツができる。
足もとにスポーツシューズが一足あれば、
日常生活もスポーツになる。
スポーツをしていますか？
もっと、気軽にスポーツをしてください。
あれこれ考えないでカラダを動かそう。
ミズノはスポーツをするひとを応援します。



明日は、きっと、できる。

国際VHF無線用免許講習会

舵社主催
KAZI マリンスクール
海上特殊無線技士講習会を
10%割引で受講できます

**JSAFメンバー
限定割引**

必ず
JSAFメンバー
専用申込書と
お伝え下さい。

第3級海上特殊無線技士

国際VHF、5Wまでの運用ができる資格です。1日6時間の講習を受講し、修了試験に合格すると資格を取得できます。どなたでも受講できます。



第47回
東京
教室

2015.5.24 (日)
AM9:00 - PM6:30

[会場] LMJ 東京研修センター 5F 大会議室
東京都文京区本郷 1-11-4 小倉ビル(東京ドーム近く)

[定員] 50名(定員になり次第閉め切らせていただきます)

[受講料] **24,000円** ▶ **JSAF会員
限定価格 21,600円** (税込)
(免許申請料、教科書代含む)

- 最新の講習会日程については、KAZIホームページをご覧ください。●KAZIマリンスクールまでお問い合わせください。●各回定員になり次第締切となります。
- 申込書をご送付いただいた場合でもお断りする場合があります。●受講料入金時をもって正式申込みとさせていただきます。●完全予約・定員締切制のため正式申込み後の日程変更および返金はできません。

専用申込書が必要です

お申し込みには、JSAF会員限定の専用申込書が必要です。専用申込書はJSAFホームページからダウンロードするか、KAZIマリンスクールまでお電話でご請求ください。

[お問い合わせ・申込用紙請求先]

JSAF
外洋安全委員会
ホームページ | jsaf-anzen.jp/1-7-2.html

KAZI
マリンスクール | **TEL 03-3434-0941**

お申し込みは、ファックスで、JSAFまで

お申し込みには、JSAF会員限定の専用申込書に必要事項をご記入いただき、JSAF外洋安全委員会までFAXにてお申し込み下さい。

[受講申込みFAX送付先]

JSAF
外洋安全委員会 | **FAX 045-544-5813**

お支払はカード、現金書留、お振込等で

JSAF外洋安全委員会にお申し込み後、KAZIマリンスクールより受付確認の連絡を入れさせていただきます。その際にお支払方法をご指定ください。各種クレジットカード、銀行振込、現金書留でのお支払がご利用いただけます。また、システムKAZI会員の方はシステムKAZI自動引き落としもご利用いただけます。

舵社・編集スタッフ募集

舵社では下記の通り、編集部員を募集します。ボート、ヨット、釣りなどのマリンレジャーに興味をお持ちの方、出版社での仕事を志望されている方のご応募をお待ちしています。



募集職種：編集スタッフ

雇用形態：正社員または契約社員

対象となる方：大学卒または同等の学歴を有する方。
編集、DTP、ウェブデザイン
などの経験者歓迎

待遇：年齢、経験を考慮して優遇。
社会保険完備

休日：土日祝日、年末年始



応募方法

履歴書および自己PR文(800字以上)を下記まで郵送

〒105-0013 東京都港区浜松町1-2-17 ストックベル浜松町3F 舵社 編集部 松田宛て TEL: 03-3434-5342

リオデジャネイロ選手強化 協賛社



関西ヨットクラブ

医療法人 健育会グループ

J-Will Group



巴工業株式会社



ラジエ工業(株)

環境キャンペーン 協賛社

外洋キャンペーン 協賛社



YANMAR



テクノヒル株式会社

平成26年度賛助会員



SPN Security Protection Network

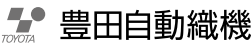


NittoBest SEE @ SEA



大塚商会

MIKIHOUSE



豊田自動織機



RIVIERA RESORT



トヨタ自動車東日本株式会社 TOYOTA MOTOR EAST JAPAN, INC.

マリンサービス児嶋

BASIC



MISAKI MARINE



ABeam Consulting

人と地球環境の未来へ Zeniya



LAGUNA MARINA



海の日



YAMAHA

YANMAR



スバル興業(株) 東京夢の島マリーナ



kaiten



GTI グロリアサービス



Kazi



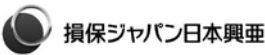
www.0023.jp



ace insurance



PERFECT RISK FOLLOW



損保ジャパン日本興亜



株式会社 宅配

ThreeBond

Benesse

丸大食品



Performance Sailcraft Japan



NO.110

3月5日～8日にかけて開催された国際的なボートショーで、JSAFはJOC後援の下、特別企画コーナー「オリンピック・パラリンピック ヨット競技応援プロジェクト」ブースを出展、49erFXを飾り、来場者の注目を集めました。(撮影/濱谷幸江)

巻頭でもお伝えしているように2015年度からJ-SAILINGは年度1回の刊行となります。1999年4月旧日本ヨット協会と旧日本外洋帆走協会が統合され、J-SAILINGが創刊されました。2005年の誌面リニューアルからは編集長としてJ-SAILINGに関わって参りました。あれから10年……デジタルの普及によって情報流通が一変、昨年はホームページの大幅なリニューアルを敢行しました。振り返る

と感慨深いものです。これからはオンラインを基盤に、会員・スポンサー・連盟一体となるコミュニティの強化を図って参りますので、引き続きご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。再び、あれから10年……齢も重ねて身体も鈍ってきましたが、時勢に懸命にアダプトしております。

(柳澤康信/広報委員会委員長 J-SAILING 編集長)



J-SAILING No.110 平成27年3月25日発行 通巻464号 昭和42年12月25日第三種郵便物認可

発行/公益財団法人日本セーリング連盟広報委員会 〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1

電話 03-3481-2357 ファクス 03-3481-0414 E-MAIL head@jsaf.or.jp

発行人/河野博文 編集人/柳澤康信 編集スタッフ/エディター・豊崎謙、フォトグラファー・濱谷幸江、デザイナー・加瀬倫有

定価/300円 (JSAF会員は会費に購読料が含まれています)

www.jsaf.or.jp



45 **α**

www.45rpm.jp

JAPAN AIRLINES



新しい翼で、世界の空へ。

昭和42年12月25日第三種郵便物認可 平成27年3月25日発行 通巻464号

J-SAILING

JAPAN SAILING FEDERATION

定価300円

NO.110



明日の空へ、日本の翼